



鬼子母神堂



円額 鬼子母神像

第1回

2018年4月22日(日) 14:00~15:30 雑司ヶ谷と鬼子母神信仰

江戸時代、西のはずれ神田川の支流域に雑司ヶ谷という村がありました。風光明媚なこの地には室町時代の終わり頃、永禄4年(1561)に出現した鬼子母神が祀られ大勢の参詣客で賑わっていました。かつて子供をさらって食べていた夜叉が同悲[どうひ]を得て子供を守る神様となった鬼子母神の説話を通して、私たちの心にもある鬼(修羅)を見つめ、心を支える鬼について考えます。

第2回

2018年5月20日(日) 14:00~15:30 雑司ヶ谷鬼子母神と自昌院の信仰

鬼子母神は、寛文4年(1664)に広島藩主浅野光晃の正室、自昌院殿英心日妙大姉の寄進により現在の本殿が建立され全盛期を迎えますが、自昌院が帰依していた不受不施[ふじゆふせ]派は全面的な帰順を求める徳川幕府と対立し、緊張した関係が続いていました。そして寛文6年(1666)、幕府は大弾圧を行い不受不施派を禁制としました。時代の波の中で純粋な信仰に生きた自昌院の生涯に触れながら雑司ヶ谷鬼子母神の歴史と信仰をたどります。

安産子育ての神様として知られる雑司ヶ谷鬼子母神は、永禄4年(一五六二)に発見され、百年後の寛文四年(一六六四)に現在の本殿が建立されました。寄進したのは加賀藩主前田利常の息女で広島藩主浅野光晃「あさのみつあきり」夫人の自昌院殿英信日妙大姉「ひしやういんてんえいしんにちみよたし」でした。その経緯を辿りながら江戸の人々が鬼子母神信仰に託した願いを考えてみます。

雑司ヶ谷 鬼子母神の 歴史を訪ねて



威光山法明寺 住職
講師 近江正典

いこうざんほうみょうじ じゅうしよく・おうみしょうてん

1956年千葉県勝浦市生まれ
立正大学仏教学部宗学科卒業
日蓮宗布教研修所修了
日蓮宗新聞社勤務を経て1985年威光山法明寺執事就任
2008年威光山法明寺住職就任
2017年豊島区観光協会会長就任

- 場 所 / 東武博物館ホール 東武スカイツリーライン「東向島」駅下車 ※詳しくは裏面をご覧ください。
- 定 員 / 各講演とも180名(応募多数の場合は抽選)
- 参加費 / 無料
- 応募条件 / 第1回・第2回の講演は2回1セットの応募(個別の応募はできません)
- 応募方法 / ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 東武カルチャースクールのホームページ(www.tobu-culture.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」バナーをクリック。上記同様の必要事項をご入力して、送信してください。

※一度に複数名のご応募はできません。1回の応募で1名様のみご当選となります。

- 締 切 / 2018年3月14日(水) 必着。※当選者には約1週間を目途に、ご案内の通知をさせていただきます。
- 宛 先 / 〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-1-3 東武カルチャ「向島文化サロン」T係
- 主 催 / 東武博物館

【お問い合わせ】東武カルチャ TEL.03-3988-4855

とぶかる

検索

www.tobu-culture.co.jp

参加費無料